

医学科教育学修プログラム

2019年度前期

2年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

2019年度 授業時間配当表(医学科2年次)

前 期																											
1週				16週				1週				16週				1週				16週				5限			
前半				後半				前半				後半				前半				後半							
月	消 (1)	主題・人文(5)		呼吸 (2)	泌尿 (2)	試験(6)		主題・人文(15)				基血液 (3)	基呼吸 (3)	神呼 (1)(1)	内分泌・代謝 (4)	泌 (1)	基感覺 (3)										
		基血液 (3)	基呼吸 (4)	内 (1)	基泌尿 (3)	生 (1)	基医特論 (4)	医療英語Ⅰ(15)①				基薬理 (3)	血 (1)	基基礎薬理学 (5)	基礎医学実習(5)②		基礎医学実習(5)②										
		基礎循環器学(7)		内 (1)	基泌尿 (3)	基基礎感覚器(5)	基特 (2)	感 (1)	基基礎循環器学(7)	神 (1)	基礎感覚器学(8)		基基礎神経学(5)	呼 (1)	基神経 (3)	基礎医学実習(5)②		基礎医学実習(5)②									
水	基礎循環器学(7)		内 (1)	基泌尿 (3)	生殖 (2)	基特 (2)	生 (1)	基礎循環器学(7)		神 (1)	基内代 (3)	基礎生殖器官(5)		生命倫理学(8)		感覚 (2)		生命倫理学(7)①		感覚 (2)		基礎医学実習(4)②					
木	基礎消化器学(7)		内 (1)	基泌尿 (3)	感覚 (2)	基特 (2)	生 (1)	基礎消化器学(8)①		泌尿 (2)	基礎生殖器官(5)		神 (1)	基神経 (3)	循 (1)	感 (1)	基礎医学実習(4)②		神 (1)		基神経 (3)	感 (1)	基礎医学実習(4)②				
後 期																											
1週				16週				1週				16週				1週				16週				5限			
前半				後半				前半				後半				前半				後半							
月	基礎感染症学(7)		社会環境医学(9)		1週		2限		16週		1週		3限		16週		1週		4限		16週		5限				
	基礎感染症学(7)		基礎感染症学(16)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)				
火	基礎感染症学(11)		病理学総論(5)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)				
水	基礎感染症学(11)		病理学総論(4)①		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)				
木	基礎感染症学(11)		病理学総論(4)①		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)				
金	基礎感染症学(11)		病理学総論(4)①		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)		基礎感染症学(11)				

※配当表のとおり実施できない科目がありますので、シラバスを確認すること。
 ※5限目等で補講を行う。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。
 ※主等等は、日本の文化と心、環境科学、経営学入門、英文学です。
 ※()内の数字はコマ数を表す。記載のないものは15コマを意味する。
 ① 授業に組み込んだ予備コマ数 ② 調整用・試験用の予備コマ数

2019年度・七曜表

(医学科2年次)

16週制

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4		1	2	3	4	5	6	1
	7	8	9	10	11	12	13	2
	14	15	16	17	18	19	20	3
	21	22	23	24	25	26	27	4
	28	29	30	1	2	3	4	
5	5	6	7	8	9	10	11	5
	12	13	14	15	16	17	18	6
	19	20	21	22	23	24	25	7
	26	27	28	29	30	31	1	8
6	2	3	4	5	6	7	8	9
	9	10	11	12	13	14	15	10
	16	17	18	19	20	21	22	11
	23	24	25	26	27	28	29	12
7	30	1	2	3	4	5	6	13
	7	8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20	15
	21	22	23	24	25	26	27	16・試
8	28	29	30	31	1	2	3	試験
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
9	25	26	27	28	29	30	31	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	再試
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10			1	2	3	4	5	1
	6	7	8	9	10	11	12	2
	13	14	15	16	17	18	19	3
	20	21	22	23	24	25	26	4
	27	28	29	30	31	1	2	5
11	3	4	5	6	7	8	9	6
	10	11	12	13	14	15	16	7
	17	18	19	20	21	22	23	8
	24	25	26	27	28	29	30	9
12	1	2	3	4	5	6	7	10
	8	9	10	11	12	13	14	11
	15	16	17	18	19	20	21	12
	22	23	24	25	26	27	28	13
1	29	30	31	1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	14
	12	13	14	15	16	17	18	15
	19	20	21	22	23	24	25	16
2	26	27	28	29	30	31	1	17・試
	2	3	4	5	6	7	8	試
	9	10	11	12	13	14	15	再試
	16	17	18	19	20	21	22	
3	23	24	25	26	27	28	29	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

備考

- ◇ 5月7日(火) 月曜日授業
- ◇ 6月1日(土) 開学記念日
- ◇ 7月24日(水) 定期試験開始
- ◇ 8月6日(火) 定期試験終了
- ◇ 9月13日(金) 再試験期間開始
- ◇ 9月30日(月) 再試験期間終了

- ◇ 11月6日(水) 月曜日授業
- ◇ 1月16日(木) 月曜日授業
- ◇ 1月17日(金) 午前中のみ金曜日授業
- ◇ 1月28日(火) 定期試験開始
- ◇ 2月10日(月) 定期試験終了
- ◇ 2月12日(水) 再試験期間開始
- ◇ 2月28日(金) 再試験期間終了

Q1 月曜授業 火曜授業 水曜授業

Q2 月曜授業 火曜授業 水曜授業

木曜授業 金曜授業

木曜授業 金曜授業

凡例	高度 Advance d	A	医師と同等のレベルであること	学年	1-3年							2年																	
	応用 Applied	B	スチューデント・ドクター相当の医学生として根拠的に関与、行動できる		科目名	入門科目 大学入門ゼミ・情報リテラシー・キャリア入門	教養主題科目 基礎手話・基礎手話・基礎科学など	教養基幹科目 人文・社会分野・心身・健康・安全・環境・理学)	教養基幹科目 自然分野 (基礎生物・化学など)	教養基幹科目 実験演習分野・早期体験型 (タイ・ヒューマン・シナなど)	外国語科目 コミュニケーション実用英語・基礎英語・第二外国語など	健康スポーツ科学実技	基礎薬理学	基礎消化器学	基礎循環器学	基礎呼吸器学	基礎泌尿器学	基礎生化学	基礎神経学	基礎感覚器学	基礎内分泌・代謝学	基礎血液学	解剖学実習	基礎感染症学・実習	基礎医学実習	病理学総論	社会環境医学	基礎医学特論	画像診断入門
	基礎 Basic	C	基盤となる能力を習得していること																										
	D	基盤となる知識を習得していること																											
	E	経験・習得する機会はあるが、単位認定に関係ない																											
	F	経験・習得する機会がない																											
			単位	3	14	9	6	8	1	1	1	2	1	1.5	1.5	2	1.5	3.5	6	1.5	2.5	2	0.5	0.5					
			科目責任者								今村 武史	松浦 達也	海藤 俊行	松尾 聡	松尾 聡	中根 裕信	海藤 俊行	加藤 信介	渡邊 達生	飯野 守男	海藤 俊行	景山 誠二	松浦 達也	梅北 善久	尾崎 米厚	海藤 俊行	藤井 進也		

- ・責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。
- ・患者の利益を重視する患者中心の医療を習得し、実践できる。
- ・生涯にわたり自己研鑽で高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。

Ⅱ コミュニケーション

・障害者とコミュニケーションしたり、地域フィールドの中でコミュニケーションしたりする能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。
・情報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。

[illegible]

1	医療チームの中で役割を持ち、適切に相談・報告・連絡を行うことができる。	F	F	D	F	B	F	F	F	F	F
---	-------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

IV 医学の知識

1	物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解に応用で	E
---	-------------------------------	---

V	診療の実践
---	-------

[illegible]VI 知的探究と創造性

1	医学・科学研究の成果が社会に貢献している実情を知り、重要性	C	C	D	C	E	E	E
---	-------------------------------	---	---	---	---	---	---	---

VIII 国際化に関する語彙を身に付けていくことができる

1	英語を母国語とする人と対話ができる。	F
2	国際的な場での異文化理解を達成できる。	F

VIII 地域医療

1	地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。	E	E	D
---	---	---	---	---

2019年度 前期試験日程表【医学科2年次】

試験

(試験期間前の定期試験実施日時)

月	日	曜	試験科目	試験時間	試験会場
6	17	月	生命倫理学	9:00～10:00	122
	24	月	基礎血液学	9:00～10:00	122
	1	月	基礎薬理学	9:00～10:00	122
	8	月	基礎消化器学	8:40～9:40	未定
	9	火	医療英語 I (シブティークラス)	10:30～12:00	262
	16	火	医療英語 I (シブティークラス)	10:30～12:00	262
7	22	月	基礎循環器学	8:40～10:10	未定
			医療英語 I (ウイリジャークラス)	10:30～12:00	111
	23	火	医療英語 I (戸野クラス)	10:30～12:00	261
			医療英語 I (シブティークラス)	10:30～12:00	262
	29	月	基礎呼吸器学	9:00～10:00	122

再試験

月	日	曜	試験科目	試験時間	試験会場
			生命倫理学		
			医療英語 I		
			基礎消化器学		
			基礎血液学		
			基礎栄養学		
			基礎薬理学		
			基礎循環器学		
			基礎呼吸器学		
			基礎神経学		
			基礎内分泌・代謝学		
			基礎泌尿器学		
			基礎感覚器学		
			基礎生殖器学		

未定

(試験期間中の定期試験実施日時)

月	日	曜	試験科目	試験時間	試験会場
7	31	月	基礎神経学	10:00～12:00	122
	1	木	基礎内分泌・代謝学	11:00～12:00	122
	2	金	基礎泌尿器学	10:00～11:00	122
8	5	月	基礎生殖器学	9:00～10:00	122
			基礎医学特論	15:00～16:00	131
	6	火	基礎感覚器学	9:00～10:30	122

※試験日程は予定です。日程が変更になる場合は再度案内します。

医学科2年次目次

前期

区分	授業科目名	
選択 主題	日本の文化と心	 1年次参照
選択 主題	環境科学	 1年次参照
必修 基幹(人文・社会)	生命倫理学	 1
選択 基幹(人文・社会)	経営学入門	 1年次参照
選択 基幹(人文・社会)	英文学	 1年次参照
外国語	医療英語 I (ウィルシャークラス)	 2
必修 外国語	医療英語 I (ジアディーンクラス)	 3
外国語	医療英語 I (戸野クラス)	 4
必修 専門科目	基礎薬理学	 5
必修 専門科目	基礎消化器学	 6
必修 専門科目	基礎循環器学	 7 ~ 8
必修 専門科目	基礎呼吸器学	 9
必修 専門科目	【基礎泌尿器・生殖器学】	
必修 専門科目	基礎泌尿器学	 10
必修 専門科目	基礎生殖器学	 11
必修 専門科目	基礎感覚器学	 12 ~ 13
必修 専門科目	基礎神経学	 14 ~ 17
必修 専門科目	【基礎内分泌・代謝・血液学】	
必修 専門科目	基礎内分泌・代謝学	 18
必修 専門科目	基礎血液学	 19
必修 専門科目	基礎医学実習	 20
必修 専門科目	基礎医学特論	 21

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は平成30年度入学者を基準としています。

※医療英語は、クラス分けを発表しますので、確認ください。

※主題、基幹(人文・社会)から3年次前期終了までに14単位以上修得してください。

※○は、公開授業講座となり、一般の方が講義を受講されることがあります。

授業のレベルについて

1: 入門及び初級レベル

2: 中級レベル(基礎科目)

3: 中級～上級レベル(応用科目)

4: 上級レベル(発展科目)

5: 大学院レベル

生命倫理学

科目到達目標:医師になる上で必須の生命倫理の基本理念を習得する。

科目責任者(所属):尾崎 米厚(環境予防医学)

連絡先:自分が割り振られたディベート班の指導教員が、班活動の初日(4月18日)に通知

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	
1	4/4(木)	3	111	医の倫理と生命倫理	黒沢 洋一	健康政策医学	生命倫理学の基本原則、医の倫理と生命倫理の規範をの重要性を認識する	生命倫理学、生命哲学、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、患者の権利章典、医師の義務と裁量権	
2	4/4(木)	4	111	インフォームド・コンセント	高橋 洋一	医学教育学	インフォームド・コンセントの必要性と意義を説明できる	インフォームド・チョイス、自己決定権、プライバシー、ニコルバルク綱領、ジョージ・ジャカルタ原則、医師法、説明と同意、納得診療	
3	4/11(木)	3	111	インフォームド・コンセント	高橋 洋一	医学教育学	インフォームド・コンセントの方法と例外を理解できる	個人情報保護、情報開示、代理同意、精神疾患、救急患者、判例、説明義務違反	
4	4/11(木)	4	111	ディベート準備の進め方	尾崎 米厚	環境予防医学	ディベート準備の方法を理解する	生命倫理、医療倫理のトピックス、ディベート、リンクマップ、文献検索、プレゼンテーション手法	
5	4/18(木)	3	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7	ディベート	黒沢 洋一 尾崎 米厚 金城 文 天野 宏紀 桑原 祐樹 増本 年男	健康政策医学 環境予防医学	ディベート準備 生命倫理の諸問題	生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のシニエリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。	
6	4/18(木)	4	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7						
7	4/25(木)	3	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7						
8	4/25(木)	4	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7						
9	5/9(木)	3	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7						
10	5/9(木)	4	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7						
11	5/16(木)	3	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7						
12	5/16(木)	4	ETU2-3~8、3-3~13、4-3~7						
13~15	5/23(木)	3,4,5	111	ディベート	ディベート発表会 生命倫理の諸問題			各班のディベートのやり取りに参加する中で、生命倫理学の基本原則、重要な考え方、賛否の分かれる論点を理解し、認識する。	
	5/30(木)	3,4,5	111	ディベート	ディベート発表会 生命倫理の諸問題				

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、7 学位授与の方針との関連:2、3、4

授業のレベル:中級から上級

評価:定期試験50%、実習態度50%

その他:テーマに沿ったディベートを行います。テーマ及び班分けは担当分野で行います。

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。
各班の指導教員が、検討内容に沿ってその都度指示

医療英語 I (ウィルシャークラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker.

科目責任者(所属教室): ティム・ウィルシャー (基礎看護学)

連絡先: 0859-38-6301、email: timw@grape.med.tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	4/2(火)	2	111	Introduction	ウィルシャー	基礎看護学	Self-Introduction	hometown, first/given, "Christian" name, last/family name, hobbies/interests
2	4/9(火)	2	111	Lesson 1	ウィルシャー	基礎看護学	Life Expectancy	fiber, high-fiber, obesity, willpower, positive thinking, worthless, calorie, confidence
3	4/16(火)	2	111	Lesson 2	ウィルシャー	基礎看護学	Cancer Prevention	nitrite-cured, cigarette, overweight, brown rice, sunbathing, wart, mole, hoarseness, lump
4	4/23(火)	2	111	Lesson 3 小テスト1	ウィルシャー	基礎看護学	Smoking	(slow) suicide, pack(s), carbon-monoxide, abnormal, smoking ban, continual, indigestion
5	5/14(火)	2	111	Lesson 4	ウィルシャー	基礎看護学	Passive Smoke	non-smoker, warning label, impotent, emphysema, ulcer, inhale, ruin, smelly, smoker's paradise
6	5/21(火)	2	111	Lesson 5	ウィルシャー	基礎看護学	Exercise	merit, capacity, neglect, boring/bored, aerobics, superior, jogging
7	5/28(火)	2	111	Lesson 6	ウィルシャー	基礎看護学	Healthy Food	attractive, energetic, cholesterol, nutritious, habit, eliminate, green tea, brown bread
8	6/4(火)	2	111	Lesson 7 小テスト2	ウィルシャー	基礎看護学	Alcohol	alcoholic, drunkenness, chugging (bottoms up), coordination, cerebellum, intestines
9	6/11(火)	2	111	Lesson 8	ウィルシャー	基礎看護学	Stress	relax, worry, chemicals, colleague, ruin, nicotine, stubborn, naïve, tolerant, moody
10	6/18(火)	2	111	Lesson 9	ウィルシャー	基礎看護学	Obesity	slim, diabetes, self-control, westernized, willpower, consumption, overeat, circulatory system
11	6/25(火)	2	111	Lesson 10	ウィルシャー	基礎看護学	Dental Care	fluoride, tartar, decay, bacteria, particle, enamel, cavity, floss, citruss, waxed, plaque, prevention
12	7/2(火)	2	111	Lesson 11 小テスト3	ウィルシャー	基礎看護学	AIDS	HIV virus, immune system, iceberg, prejudice(-free), condom, fatal, anonymous, intercourse
13	7/9(火)	2	111	発表/オーラル面接	ウィルシャー	基礎看護学		
14	7/16(火)	2	111	発表/オーラル面接	ウィルシャー	基礎看護学		
15	7/23(火)	2	111	発表/オーラル面接 Final Assessment	ウィルシャー	基礎看護学		

教育グランドデザインとの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 2

評価: 定期試験 40%, 参加 25%, 発表/オーラル面接 25%, 小テストなど 10%

教科書: Healthtalk - 3rd Edition, MacMillan Languagehouse, 2014.

注意: Scheduling of units in the book and choice of materials are subject to change.

医療英語 I (ジアディーンクラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker.

科目責任者(所属教室): マーク・ジアディーン(非常勤講師)

連絡先: m.giardine@hotmail.com

回数	日付	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/2(火)	2	262	Class overview /Introduction	ジアディーン	(非常勤講師)		"Breaking the Ice" game
2	4/9(火)	2	262	Unit 2	ジアディーン	(非常勤講師)	Island of Nauru	Worldwide obesity, strategies, patient advice, obesity in Japan, junk food/temptation
3	4/16(火)	2	262	Unit 3	ジアディーン	(非常勤講師)	Passion	Passion for your profession, happiness/passion, inspiration, how to create passion
4	4/23(火)	2	262	Unit 5	ジアディーン	(非常勤講師)	Humour and Laughter	Differences children/adults, ways to create laughter, health benefits, stress relief
5	5/14(火)	2	262	Unit 7	ジアディーン	(非常勤講師)	Nutrition and Exercise	Weight training vs. cardio, Mediterranean diet, exercise habits, unhealthy food
6	5/21(火)	2	262	Unit 9	ジアディーン	(非常勤講師)	Technology Addiction	Japan versus the world, South Korean strategy, self addiction, health risks
7	5/28(火)	2	262	Midterm assessment	ジアディーン	(非常勤講師)	Midterm presentations	
8	6/4(火)	2	262	Midterm review /Unit 9	ジアディーン	(非常勤講師)	Midterm review /Technology	positive/negatives about class midterm presentations, finish Unit 9
9	6/11(火)	2	262	Unit 12	ジアディーン	(非常勤講師)	Sugar Addiction	"Fed-up" & "Sugar the Bitter Truth" videos, sugar challenge, sugar addiction in Japan
10	6/18(火)	2	262	Unit 12	ジアディーン	(非常勤講師)	Sugar Addiction	Health risks, history of sugar addiction, recent trends, solutions, global strategies
11	6/25(火)	2	262	Unit 17	ジアディーン	(非常勤講師)	Cigarette Advertising	Nicotine, secondhand smoke, class survey, smoking in Japan, health risks, solutions
12	7/2(火)	2	262	Unit 20	ジアディーン	(非常勤講師)	Winningfriends/ Influencing people	The 9 self-help lessons and how they can change your life; final exam review
13	7/9(火)	2	262	Final Examination 1	ジアディーン	(非常勤講師)	Oral examinations/essays	
14	7/16(火)	2	262	Final Examination2	ジアディーン	(非常勤講師)	Oral examinations/essays	
15	7/23(火)	2	262	Final Examination 3	ジアディーン	(非常勤講師)	Oral examinations/essays	

教育グラウンドデザインに関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 2

評価: Participation 30%, Midterm 20%, Essay 10%, Final Exam 40%

教科書: Life Topics: Deeper Connections 2016

医療英語 I (戸野クラス)

科目到達目標: 医療現場で英語のやり取りができるようにする。医療に関連した英文読解、英作文。

科目責任教室(所属): 戸野 康恵(非常勤講師)

連絡先: 学務課を通して連絡

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/2(火)	2	231	Hospital departments	戸野 康恵	非常勤講師	病院の診療科、医療従事者を知る。	department, specialist, healthcare professionals
2	4/9(火)	2	261	Check-up	戸野 康恵	非常勤講師	検査の目的、適切な使用について説明する。	medical procedures, ultrasound, radiation
3	4/16(火)	2	261	Vaccination	戸野 康恵	非常勤講師	予防接種の重要性について説明する。	vaccine, childhood diseases
4	4/23(火)	2	261	Organs	戸野 康恵	非常勤講師	臓器の名称と働きを知る。	organs
5	5/14(火)	2	261	Food and health	戸野 康恵	非常勤講師	健康と食事の関係について説明する。	fats, cholesterol, carbohydrates, health problems
6	5/21(火)	2	261	Stroke	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中の症状、予後について理解する。	symptom, prognosis, disability
7	5/28(火)	2	261	Rehabilitation	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中後のリハビリテーションについて説明する。	movement, activity, assistance, independence
8	6/4(火)	2	261	Medication	戸野 康恵	非常勤講師	薬の適切な使用について説明する。	direction, warning, side effect
9	6/11(火)	2	261	Dietary supplements	戸野 康恵	非常勤講師	サプリメントの有用性について説明する。	supplement, effectiveness, safety and risk
10	6/18(火)	2	261	Musculoskeletal system	戸野 康恵	非常勤講師	体の部位、骨格、筋肉に関する語彙を知る。	body parts, bone, joint, muscle
11	6/25(火)	2	261	Injury	戸野 康恵	非常勤講師	傷害の原因を理解し、治療について説明する。	sports injury, surgery, rehabilitation
12	7/2(火)	2	261	Mental health	戸野 康恵	非常勤講師	うつへの対処法について助言する。	trauma, depression
13	7/9(火)	2	261	Review	戸野 康恵	非常勤講師	既習事項の復習、発表準備	
14	7/16(火)	2	261	Presentations	戸野 康恵	非常勤講師	発表	
15	7/23(火)	2	261	試験	戸野 康恵	非常勤講師		

教育グランドデザインとの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 2

評価: 定期試験60%、小テスト20%、課題提出20%

指定教科書: 教材はその都度配布します。

基礎薬理学

科目到達目標: 生体における薬剤の作用を理解し、薬について正しい知識を得る。

科目責任者(所属): 今村 武史 (薬理学・薬物療法学)

連絡先: <timamra@tottori-u.ac.jp> までメールください。

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/2(火)	3	131	薬理学概論	今村 武史	薬理学・薬物療法学	薬とは何か、薬剤情報の理解	薬物、薬物受容体、薬物動態、薬力学
2	4/9(火)	3	131	Pharmacodynamics (1) 用量反応関係	今村 武史	薬理学・薬物療法学	用量反応曲線の理解	Potency, Efficacy, ED50, LD50、治療係数
3	4/9(火)	4	131	Pharmacodynamics (2) 薬物受容体	今村 武史	薬理学・薬物療法学	受容体の構造・特性を理解、それを基にして受容体作動薬、受容体拮抗薬の理解	リガンド、完全活性薬、部分活性薬、競合拮抗薬、解離定数(KD)、pA2値
4	4/16(火)	3	131	Pharmacokinetics ADME (1)	島田 美樹	薬剤部	薬物の吸収・分布・代謝・排泄の機序の理解	クリアランス、半減期、AUC、初回通過効果、分布容積、生体利用率
5	4/16(火)	4	131	Pharmacokinetics ADME (2)	島田 美樹	薬剤部	薬物の吸収・分布・代謝・排泄の機序の理解	薬理遺伝学、薬物動態に影響を与える因子、薬物動態の個人差・人種差、Therapeutic drug monitoring、薬物動態を指向した医薬品開発
6	5/14(火)	3	131	薬物代謝とCYP、薬害・副作用 薬物代謝に関する相互作用	島田 美樹	薬剤部	薬物代謝を規定する因子、薬物相互作用の理解	CYP、酵素誘導、酵素阻害、薬物相互作用全般
7	5/14(火)	4	131	神経作用薬序論	今村 武史	薬理学・薬物療法学	神経作用薬の作用点、作用機序を理解する	神経伝達物質、薬剤作用点、再取り込み、受容体
8	5/21(火)	3	131	自律神経作用薬 (1)	澤野 達哉	薬理学・薬物療法学	交感神経系作用薬の作用の理解	アドレナリン作用薬、α 受容体、β 受容体
9	5/21(火)	4	131	自律神経作用薬 (2)	澤野 達哉	薬理学・薬物療法学	交感神経系作用薬の作用の理解	アドレナリン作用薬、α 受容体、β 受容体
10	5/28(火)	3	131	生理活性物質と関連薬 (1)	森野 勝太郎	薬理学・薬物療法学 (非常勤講師)	糖代謝関連薬の理解	糖尿病、インスリン、SU受容体、インクレチン受容体、ビグアナイド、SGLT2阻害薬
11	5/28(火)	4	131	生理活性物質と関連薬 (2)	森野 勝太郎	薬理学・薬物療法学 (非常勤講師)	糖代謝関連薬の理解	糖尿病、インスリン、SU受容体、インクレチン受容体、ビグアナイド、SGLT2阻害薬
12	6/4(火)	3	131	自律神経作用薬 (3)	市原 克則	薬理学・薬物療法学	副交感神経系作用薬の作用の理解	コリン作用薬、ムスカリン受容体、ニコチン受容体
13	6/4(火)	4	131	自律神経作用薬 (4)	市原 克則	薬理学・薬物療法学	副交感神経系作用薬の作用の理解	コリン作用薬、ムスカリン受容体、ニコチン受容体
14	6/11(火)	3	131	生理活性物質と関連薬 (3)	三明 淳一朗	薬理学・薬物療法学	血管作動性物質と関連薬の理解	オータコイド、アンギオテンジン、エンドセリン、一酸化窒素
15	6/11(火)	4	131	生理活性物質と関連薬 (4)	三明 淳一朗	薬理学・薬物療法学	血管作動性物質と関連薬の理解	オータコイド、アンギオテンジン、エンドセリン、一酸化窒素

教育グランドデザインとの関連: 2、3、5

学位授与の方針との関連: 1、2、3

授業のレベル: 2

評価: 定期試験 85%

小試験(レポート) 15%

実務経験との関連: 現役の医師あるいは薬剤師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

教科書: 新しい薬理学 (西村書店 ISBN: 978-4-89013-485-4)

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

基礎消化器学

科目到達目標:消化器系の発生と構造および機能を理解し、それらを病態と関連づけて説明できる。

科目責任者(所属教室):松浦 達也 (統合分子医化学)

連絡先 :0859-38-6153 (統合分子医化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(月)	1	131	口腔、歯、舌、唾液腺の構造	小谷 勇	口腔顎顔面病態外科学	口腔、歯、舌、唾液腺の構造を理解する。	口腔、粘膜、歯、歯周組織、小唾液腺、大唾液腺、舌、上顎骨、下顎骨、口蓋、顎関節
2	4/1(月)	2	131	消化管の一般構造、食道・胃の構造	中根 裕信	解剖学	消化管の一般構造、食道・胃の構造を説明できる。	粘膜、筋層、漿膜、狭窄部位、胃底、噴門、幽門、小弯、大弯、胃腺
3	4/5(金)	1	131	小腸、大腸の構造	中根 裕信	解剖学	小腸、大腸の構造を説明できる。	回盲部、虫垂、結腸ヒモ、腹膜炎、結腸膨起、腸絨毛、パイエル板
4	4/5(金)	2	131	消化管の発生	中根 裕信	解剖学	消化管の形成過程を説明できる。	前腸、中腸、後腸、メックェル憩室、胃間膜、腸ループの回転、網嚢
5	4/12(金)	1	131	脾臓、胆嚢の構造	中根 裕信	解剖学	脾臓、胆嚢の構造を説明できる。	胆嚢底、肝管、胆嚢管、総胆管、オッディ括約筋、副脾管、外分泌部、脾島
6	4/12(金)	2	131	肝臓の構造	加藤 雅子	分子病理学	肝臓の構造、構成細胞	肝細胞、類洞、クッパー細胞、星細胞、グリッソ管、胆管
7	4/19(金)	1	組織系	組織実習(1)(医2年次)	中根 裕信 小山 友香	解剖学	食道、胃の構造を説明できる。	食道腺、筋層、筋間神経叢、粘膜下神経叢、主細胞、副細胞、旁細胞、G細胞
8	4/19(金)	2	組織系	組織実習(2)(医2年次)	中根 裕信 小山 友香	解剖学	小腸、大腸の構造を説明できる。	輪状ひだ、腸絨毛、陰窩、腸腺、リンパ小節
9	4/26(金)	1	組織系	組織実習(1)(医2年次)	中根 裕信 小山 友香	解剖学	肝臓、胆嚢の構造を説明できる。	肝小葉、類洞、グリッソ管、三つ組
10	4/26(金)	2	組織系	組織実習(2)(医2年次)	中根 裕信 小山 友香	解剖学	脾臓の構造を説明できる。	脾管、腺房、腺房中心細胞、脾島
11	5/10(金)	1	131	消化液の分泌	松尾 聡	適応生理学	唾液、胃液、膵液の分泌と作用	唾液、アミラーゼ、胃液、胃酸、ペプシン、膵液、トリプシン、膵アミラーゼ、膵リパーゼ、HCO3-
12	5/10(金)	2	131	消化と吸収	松尾 聡	適応生理学	管腔内消化、終末消化、吸収過程	能動輸送、担体輸送、共輸送、糖質・蛋白質・脂質の吸収
13	5/17(金)	1	131	消化管の運動	松尾 聡	適応生理学	消化管の運動	嚥下、輪走筋、縦走筋、機能的合胞体、アウエルバッシュ神経叢、slow wave、蠕動運動、排便
14	5/17(金)	2	131	消化の神経性、液性調節	松尾 聡	適応生理学	腸管神経系、外来神経、消化管ホルモン	壁内神経叢、迷走神経、ガストリン、セクレチン、コレシストキニン
15	5/24(金)	1	131	肝臓の機能(1)	松浦 達也	統合分子医化学	糖質、脂質、タンパク質、薬物代謝の説明	グリコーゲン、糖新生、ケトン体、コレステロール、リポタンパク、尿素サイクル、シトクロムP450、肝細胞、肝組織代謝酵素の分布特性
16	5/24(金)	2	131	肝臓の機能(2)	松浦 達也	統合分子医化学	胆汁酸、金属、ビタミン、アルコール代謝の説明	ビタミンA、ビタミンD、ビタミンK、鉄・銅代謝、急性期タンパク質、ADH、ALDH、MEOS、非実質肝細胞の機能
17	5/31(金)	1	131	胆膵系の機能	松浦 達也	統合分子医化学	胆膵系の機能と病態の理解	胆汁、胆汁酸代謝、胆汁ンビン代謝、黄疸、消化酵素、胆石症、胆嚢炎、胆管炎、膵炎
18	5/31(金)	5	131	消化器疾患治療薬(1)	今村 武史	薬理学・薬物療法学	消化性潰瘍治療薬の理解	胃酸分泌、H2レセプター、H2ブロッカー、プロトンポンプ、プロトンポンプインヒビター
19	6/7(金)	5	131	消化器疾患治療薬(2)	今村 武史	薬理学・薬物療法学	膵炎治療薬の理解	急性膵炎、慢性膵炎、ケミカルメディアエーター、ガベキサートメシル酸塩、ナファモスタットメシル酸塩

教育ブランドデザインとの関連:2、3、5

学位授与方針との関連:1

授業のレベル:2

評価:本試験は筆記試験＋実習評価 100%。ただし、単位認定規則の出席時間不足者は受験を認めない。再試験は筆記試験のみで評価する。

実務経験との関連:担当教員全員が医師免許または歯科医師免許を持ち、自らの臨床経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

その他:組織実習は組織系実習室にておこなう。その際、パソコン、色鉛筆(12色程度)、LANケーブルを持参のこと。授業外学習は講義プリントや参考書を使って復習を中心に行うことを勧める。

試験:7/8(月)8:40～9:40

基礎循環器学

科目到達目標：心臓、血管系の正常構造と機能に関する知識を習得して、病態の理解や診断・治療に応用できる。

科目責任者(所属教室)：海藤 俊行(解剖学)

連絡先： 0859-38-6011 (解剖学)

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	4/3(水)	1	131	心臓の構造	海藤 俊行	解剖学	心臓の構造を説明できる 心臓の構造に関わる疾患の例を理解できる	右心房、右心室、左心房、左心室、心臓、刺激伝導系
2	4/3(水)	2	131	心臓の弁と血管・神経	海藤 俊行	解剖学	心臓の弁の構造と心臓に分布する血管・神経を説明できる 弁に関わる疾患の例を理解できる	肺動脈弁、大動脈弁、僧帽弁、三尖弁、心音、冠状動脈、心臓の画像診断、神経支配
3	4/4(木)	1	131	体循環と肺循環、大動脈と頭頸部の動脈	海藤 俊行	解剖学	体循環と肺循環を説明できる 大動脈の走行と主な枝を図示して概説できる 頭頸部の主な動脈を図示し、分布域を概説できる 動脈に関わる疾患の例を理解できる	体循環、肺循環、大動脈、総頸動脈、外頸動脈、内頸動脈
4	4/4(木)	2	131	脳の動脈、上肢の動脈	海藤 俊行	解剖学	脳の主な動脈を図示し、分布域を概説できる 上肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる 動脈に関わる疾患の例を理解できる	前・中・後大脳動脈、椎骨動脈、大脳動脈輪、腋窩動脈、上腕動脈、橈骨動脈、尺骨動脈、浅掌・深掌動脈弓
5	4/10(水)	1	131	胸大動脈と腹大動脈の枝	海藤 俊行	解剖学	胸動脈と腹大動脈の枝を図示し、分布域を概説できる 動脈に関わる疾患の例を理解できる	胸大動脈、肋間動脈、腹大動脈、腹腔動脈、上腸間動脈、下腸間動脈、腎動脈
6	4/10(水)	2	131	骨盤と下肢の動脈、静脈系の特徴、上大静脈と下大静脈	海藤 俊行	解剖学	内・外腸骨動脈の枝と分布域を概説できる 下肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる 静脈系の特徴を概説できる、上大静脈と下大静脈に流入する主な静脈を図示し、概説できる	総腸骨動脈、内腸骨動脈、外腸骨動脈、大腿動脈、膝窩動脈、前脛骨動脈、後脛骨動脈、上大静脈、下大静脈
7	4/11(木)	1	131	頭頸部、上肢、体幹の静脈、門脈	海藤 俊行	解剖学	頭頸部・上肢・体幹の主な静脈を図示して概説できる 門脈系を図示して概説できる 門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる 静脈に関わる疾患の例を理解できる	腕頭静脈、内頸静脈、外頸静脈、硬膜静脈洞、鎖骨下静脈、横側・尺側皮静脈、奇静脈系、門脈
8	4/11(木)	2	131	骨盤と下肢の静脈、血管壁の構造	海藤 俊行	解剖学	骨盤と下肢の主な静脈を図示できる 血管壁の構造を概説できる 静脈に関わる疾患の例を理解できる	総腸骨静脈、大伏在静脈、内腹、中腹、外腹
9	4/12(金)	3	131	心臓細胞の微細構造と興奮収縮連関	松尾 聡	適応生理学	心臓の微細構造と機能との関連、特に興奮収縮連関を概説できる	アクチン、ミオシン、トロポニン、T管系、筋小胞体、細胞内カルシウム、トロポミオシン、架橋、滑走説
10	4/12(金)	4	131	心周期に伴う血行動態	松尾 聡	適応生理学	心周期に伴う血行動態を説明できる	収縮期、拡張期、駆出期、充滿期、心臓弁、心室内圧、心房内圧、動脈圧、心音
11	4/18(木)	1	131	心血管系の形成過程と胎児循環	海藤 俊行	解剖学	心血管系の形成過程を説明でき、さらにその分化過程の異常と関連する疾患の基礎知識を理解する 胎児循環について説明できる	心臓の発生、血管の発生、胎児循環、新生児循環
12	4/18(木)	2	131	リンパ管系とリンパ節	海藤 俊行	解剖学	全身のリンパの流れを概説できる 所属リンパ節と疾患の関係を概説できる	毛細リンパ管、リンパ管、胸腔、所属リンパ節、頭頸部のリンパ路、乳房のリンパ路、胸腔のリンパ路、腹腔のリンパ路、骨盤腔のリンパ路、下肢のリンパ路
13	4/24(水)	1	組織系	組織学実習	海藤 俊行 中根 裕信 棕田 崇生 小山 友香	解剖学	心臓と血管の組織構造について図示して説明できる	心内膜、心筋層、心外膜、血管の内膜・中膜・外膜、弾性型動脈、筋型動脈、小動脈、細動脈、毛細血管、細静脈
14	4/24(水)	2	組織系	組織学実習	海藤 俊行 中根 裕信 棕田 崇生 小山 友香	解剖学	胸腺、リンパ節、脾臓の組織構築について図示して説明できる	胸腺、胸腺細胞、ハツサル小体、リンパ節、リンパ小節、傍皮質、髄索、リンパ洞、脾臓、脾柱、白脾髄、赤脾髄、中心動脈

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
15	4/25(木)	1	131	心機能曲線と心拍出量の調節機序	松尾 聡	適応生理学	心機能能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる	心拍出量、心拍数、1回拍出量、スターリングの法則、自律神経作用、長さ-張力曲線、静脈還流量
16	4/25(木)	2	131	心筋細胞の電気現象と刺激伝導系	久留 一郎	再生医学	心筋細胞の電気現象と刺激伝導系を説明できる	静止膜電位、興奮性、活動電位、イオンチャネル、洞結節、房室結節、ヒス束、脚、プルキンジェ線維、自動能発生機序、興奮伝導、不応期
17	5/8(水)	1	131	毛細血管における物質、水分交換	松尾 聡	適応生理学	毛細血管における物質、水分交換を説明できる	拡散、ろ過、再吸収、スターリングの仮説、毛細管内圧、血漿膠質浸透圧、リンパ管、血管内皮細胞、浮腫
18	5/8(水)	2	131	血圧調節のメカニズム	木場 智史	統合生理学	血圧調節の機序を説明できる	神経因性調節、液性調節、心拍出量、総末梢血管抵抗、血管平滑筋、圧受容器反射、RAAS系、ANP、バソプレシン
19	5/9(木)	1	131	心電図の原理	久留 一郎	再生医学	心電図の原理を理解して説明できる	12誘導心電図、電気的2重層、体表面電位変化、標準双極肢誘導、Einthovenの三角形、増高単極肢誘導、中心電極、単極胸部誘導、基本波形、波形の異常、リズムの異常
20	5/9(木)	2	131	局所循環と胎児循環	松尾 聡	適応生理学	特殊循環について概説できる	脳循環、冠循環、肝循環、腎循環、皮膚循環、胎児循環
21	5/15(水)	1	131	循環器作用薬(抗不整脈薬)の薬理作用	三明 淳一郎	薬理学・薬物療法学	抗不整脈薬の作用機序と応用を説明できる	自動能不整脈、リエントリー不整脈、上室性不整脈、心室性不整脈、Naチャネル/Caチャネル/Kチャネル抑制薬、β遮断薬
22	5/15(水)	2	131	循環器作用薬(強心薬)の薬理作用	三明 淳一郎	薬理学・薬物療法学	強心薬の種類と作用機序を説明できる	ジギタリス、Na-K ATPase、SR、Ca、c-AMP、Caチャネル、強心薬、アムリノン、ベスナリノン、ピモベンダン、デノバミン、コルフォノン
23	5/16(木)	1	131	運動時の循環調節	木場 智史	統合生理学	運動時の循環調節とその機序を概説できる	骨格筋循環、肺循環、酸素摂取量、前毛細管括約筋、代謝性血流調節、アデノシン、乳酸、カテコラミン
24	5/16(木)	2	131	心不全の病態生理	木場 智史	統合生理学	心不全時の循環動態について概説できる	心拍出量、静脈還流量、右房圧、浮腫、代償性心不全、非代償性心不全、心原性ショック
25	5/17(金)	3	131	脂質・尿酸代謝異常治療薬(1)	今村 武史	薬理学・薬物療法学	高脂血症治療薬、高尿酸血症治療薬の薬理作用を説明できる	高LDLコレステロール血症、低HDLコレステロール血症、高トリグリセライド血症、痛風、スタチン系、フィブラート系、プロブコール
26	5/17(金)	4	131	脂質・尿酸代謝異常治療薬(2)	今村 武史	薬理学・薬物療法学	高脂血症治療薬、高尿酸血症治療薬の薬理作用を説明できる	高LDLコレステロール血症、低HDLコレステロール血症、高トリグリセライド血症、痛風、スタチン系、フィブラート系、プロブコール
27	5/22(水)	1	131	循環器作用薬(心不全治療薬)	三明 淳一郎	薬理学・薬物療法学	心不全の病態に応じた治療薬を説明できる	急性心不全、慢性心不全、強心薬、利尿薬、hANP、血管拡張薬、β遮断薬、ACEI、ARB、アルドステロンブロッカー
28	5/22(水)	2	131	抗凝固・抗血栓薬	三明 淳一郎	薬理学・薬物療法学	抗凝固薬の作用機序を説明できる	心筋梗塞、静脈血栓、抗血小板薬、抗凝固薬、血栓溶解薬、アスピリン、ワルファリン、t-PA、DOAC
29	5/23(木)	1	131	循環器作用薬(抗狭心薬)の薬理作用	澤野 達哉	薬理学・薬物療法学	虚血性心疾患治療薬(狭心症治療薬)の作用機序を説明できる	労作狭心症、安静狭心症、スパズム、β遮断薬、ナイトレイト、Ca拮抗薬、Kチャネル開口薬
30	5/23(木)	2	131	循環器作用薬(降圧薬)の薬理作用	澤野 達哉	薬理学・薬物療法学	降圧薬の薬理作用、適用を説明できる	利尿薬、β遮断薬、Ca拮抗薬、ACE阻害薬、AT1拮抗薬、中枢性降圧薬

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、

学位授与の方針との関連: 1、2、3

授業のレベル: 3

評価: 定期試験、実習

実務経験との関連: 研究医や臨床医がその経験を生かして、循環器に関する専門分野の講義・実習を行う。

基礎呼吸器学

科目到達目標: 1) 呼吸器系の発生と構造を説明できる。 2) 呼吸器系の機能を説明できる。 3) 呼吸器系に働く薬物の作用機序を説明できる。
4) 肺循環について説明できる。

科目責任者(所属教室): 松尾 聡(適応生理学)

連絡先: 0859-38-6043

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/22(月)	3	131	鼻腔・咽頭の構造	名黒 知徳	非常勤講師	鼻腔・咽頭・の構造を説明できる。	鼻前庭、嗅上皮、キーゼルバツハ部位、鼻甲介、副鼻腔、ワルダイエルの咽頭輪
2	4/22(月)	4	131	喉頭・気管・気管支の構造	中根 裕信	解剖学	喉頭・気管・気管支の構造の説明ができる。	声門、声帯、喉頭蓋、甲状軟骨、輪状軟骨、気管、細気管支、呼吸細気管支
3	4/23(火)	1	131	肺の構造	名黒 知徳	非常勤講師	肺葉、肺区域、肺門の構造を説明できる。	気管支肺動脈束、肺静脈、リンパ管、肺門リンパ節、一次小葉、二次小葉
4	5/7(火)	3	131	換気(1)	松尾 聡	適応生理学	呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	呼吸筋、補助呼吸筋、横隔神経、肋間神経、胸膜腔内圧、死腔
5	5/7(火)	4	131	縦隔・胸膜・胸郭の構造	中根 裕信	解剖学	縦隔・胸膜・胸郭の構造を説明できる。	縦隔リンパ節、壁側胸膜、臓側胸膜、胸膜腔、骨性胸郭、横隔膜
6	5/13(月)	3	131	換気(2)	松尾 聡	適応生理学	換気力学を概説できる。	肺コンプライアンス、表面活性物質、呼吸抵抗、肺気量と肺容量、スパイログラム
7	5/13(月)	4	131	肺循環	松尾 聡	適応生理学	肺循環の特徴を説明できる。	肺動脈楔入圧、Waterfall現象、換気-血流比、肺水腫、起座呼吸、低酸素性肺血管収縮、肺高血圧
8	5/14(火)	1	131	ガス交換	松尾 聡	適応生理学	肺胞におけるガス交換の機序を説明できる。	肺胞膜、拡散、Fickの法則、肺胞気-動脈血較差、理想肺、右-左シャント
9	5/15(水)	3	組織系	組織実習1	中根 裕信 小山 友香	解剖学	呼吸器系の構造を図示できる。	多列綿毛上皮、杯細胞、刷子細胞、クララ細胞、気管軟骨、細気管支、肺胞、肺胞上皮細胞、塵埃細胞
10	5/15(水)	4	組織系	組織実習2	中根 裕信 小山 友香	解剖学	同上	同上
11	5/20(月)	1	組織系	組織実習3	中根 裕信 小山 友香	解剖学	同上	同上
12	5/21(火)	1	131	ガス運搬	松尾 聡	適応生理学	ガス運搬の仕組みを説明できる。	ヘモグロビン、酸素解離曲線、Bohr効果、Haldane効果、カルバミノ化合物、塩素イオン移動
13	5/27(月)	1	131	呼吸調節(1)	松尾 聡	適応生理学	呼吸中枢による呼吸リズム形成を説明できる。	呼吸中枢、呼吸ニューロン、背側呼吸ニューロン群、腹側呼吸ニューロン群
14	5/27(月)	3	131	呼吸調節(2)	松尾 聡	適応生理学	呼吸調節機序を説明できる。	ヘーリング・ブローエル反射、化学受容器、頸動脈小体、大動脈小体、中枢化学受容野
15	5/27(月)	4	131	呼吸器作用薬(1)	今村 武史	薬理学・ 薬物療法学	呼吸器疾患治療薬の薬理作用を説明できる。	気管支拡張薬、テオフィリン、 β 2刺激薬、吸入ステロイド薬、抗コリン薬
16	5/28(火)	1	131	呼吸器作用薬(2)	今村 武史	薬理学・ 薬物療法学	呼吸器疾患治療薬の薬理作用を説明できる。	気管支拡張薬、テオフィリン、 β 2刺激薬、吸入ステロイド薬、抗コリン薬

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザイン: 2、3、4

学位授与の方針: 1、2

授業のレベル: 3

評価: 筆記試験を実施する。試験の配点は、講義時間数に応じて行う。筆記試験81%、組織実習19%とする。

その他: 組織実習は組織学実習室で行う。パソコン、LANケーブル、色鉛筆を持参のこと。

基礎泌尿器学

科目到達目標：1)泌尿器系の発生と構造を説明できる。
2)腎臓の機能とその調節について説明できる。
3)蓄排尿の機序を説明できる。
4)腎臓作用薬の薬理作用を理解する。
5)泌尿器疾患の病理を説明できる。

科目責任者(所属)：松尾 聡(適応生理学)

連絡先：0859-38-6043

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/3(月)	1	131	泌尿器系(腎臓)の構造	棕田 崇生	解剖学	腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配・発生を説明できる。	腎臓、尿管、膀胱、尿道、腹膜後器官、腎動静脈、交感・副交感神経、陰部神経、前腎、中腎、後腎
2	6/6(木)	1	131	泌尿器系(腎臓)の構造	棕田 崇生	解剖学	腎臓のネフロン各部の構造と機能を概説できる。	腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位尿管、ヘンレのループ、遠位尿管、集合管、糸球体傍装置
3	6/10(月)	1	131	体液と電解質	松尾 聡	適応生理学	体液の量と組成・浸透圧について成人と小児を区別して説明できる。 水・電解質の調節機構を概説できる。	体液、細胞外液、細胞内液、浸透圧、視床下部、ADH
4	6/11(火)	1	131	酸塩基平衡、腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	酸塩基平衡の調節機構を概説できる。 腎機能の全体像を概説できる。	ヘンダーソン・ハッセルバルヒ、呼吸性調節、腎性調節、緩衝作用、重炭酸系、アシドーシス、アルカローシス、尿の生成
5	6/13(木)	1	131	腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	腎糸球体の濾過機序を説明できる。	糸球体濾過量、腎血漿流量、濾過率、有効濾過圧、原尿、クリアランス
6	6/14(金)	1	131	腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	尿細管各部の再吸収・分泌機構と尿濃縮機序を説明できる。	再吸収、分泌、最大輸送量、対向流、アルドステロン、ADH
7	6/14(金)	2	131	腎機能の調節	松尾 聡	適応生理学	腎に作用するホルモン・血管作動物質の作用を説明できる。	バゾプレッシン、アンギオテンジン、レニン、アルドステロン
8	6/18(火)	1	131	腎臓作用薬	今村 武史	薬理学・薬物療法学	腎臓作用薬の作用機序・薬理作用を理解する。	利尿薬作用点、電解質、排泄と再吸収、副作用
9	6/20(木)	1	131	尿管・膀胱・尿道の構造と蓄排尿の機序	松尾 聡	適応生理学	尿管・膀胱・尿道の構造と蓄排尿の機序を説明できる。	尿管、膀胱、尿道、蓄尿、排尿、抗コリン薬、αブロッカー、β刺激薬
10	6/21(金)	1	131	膀胱・尿道・前立腺の機能異常	本田 正史	腎泌尿器学	神経因性膀胱と下部尿路症の概要を理解する。	神経因性膀胱、前立腺肥大症、下部尿路症
11	7/1(月)	3	組織系	組織学実習	海藤 俊行 棕田 崇生 小山友香	解剖学	腎臓の組織構造について光学顕微鏡で判別できる。	腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位・遠位尿管、ヘンレのループ、集合管、糸球体傍装置
12	7/1(月)	4	組織系	組織学実習	海藤 俊行 棕田 崇生 小山友香	解剖学	尿管、膀胱、尿道の組織構造について光学顕微鏡で判別できる。	移行上皮、粘膜固有層、筋層、外膜

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連：2、3、4、5

学位授与の方針との関連：1、2、3

授業のレベル：3

評価：筆記試験を実施する。試験の配点は、講義時間数に応じて行う。筆記試験83%、組織実習17%とする。

基礎生殖医学

科目到達目標: 生殖器系の発生・構造・機能・病理像を説明できる。性差について概説できる。

科目責任者(所属教室): 中根 裕信(解剖学)

連絡先: 0859-38-6013(解剖学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/12(水)	2	131	男性生殖器の位置と形態	名黒 知徳	解剖学 (非常勤講師)	男性生殖器の形態と機能を説明できる。	精巣、精巣上体、精管、精嚢、前立腺、尿道球腺、陰茎、陰嚢、精索、陰茎亀頭、陰茎体、陰茎根、陰茎脚、尿道球
2	6/13(木)	3	131	女性生殖器の位置と形態	名黒 知徳	解剖学 (非常勤講師)	女性生殖器の形態と機能を説明できる。	卵巣、卵管、子宮、陰、大前庭腺、陰核、前庭球、子宮広間膜、卵管膨大部、卵管采、卵管粘膜、ダグラス窩、子宮頸部、膈上部、頸管、外子宮口、子宮内膜、膈凹蓋
3	6/14(金)	3	131	受精・着床の機序	谷口 文紀	生殖機能医学	受精。初期胚発生、着床の機序を説明できる	卵胞発育、減数分裂、受精、初期胚発生、胚盤胞、着床
4	6/19(水)	1	131	精巣の組織と精子形成	本田 正史	腎泌尿器学	精巣の組織と精子形成を説明できる。	曲精細管、精巣網、輸尿管、白膜、精巣中隔、間質、間細胞、精祖細胞、精母細胞、精娘細胞、精子細胞、精子、セルトリー細胞、アクロゾーム、尖体、カルタゲナー症候群
5	6/26(水)	1	131	女性生殖器の発育の過程・乳房の構造と機能	原田 省	生殖機能医学	女性生殖器の発育の過程を説明できる。乳房の構造と機能、成長発達に伴う変化、乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。	ウォルフ管、ミュラー管、未分化性腺、睾丸決定因子、SRV、生殖堤、原始生殖細胞、子宮、膈、乳管、乳腺葉、乳腺上皮、乳汁分泌
6	6/27(木)	1	131	生殖腺の発生と性分化	鞍嶋 有紀	周産期・小児医学	生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。	未分化性腺、精巣決定遺伝子(SRV)、ミュラー管、ウォルフ管、ミュラー管退縮因子、テストステロン、ジヒドロテストステロン、精巣、卵巣、セルトリー細胞、ライディッシュ細胞、WT-1、Lim-1、SF-1、DAX-1
7	7/3(水)	2	131	性周期発現の機序	原田 省	生殖機能医学	性周期発現と排卵の機序を説明できる。	FSH、LH、卵胞、卵子、極体、顆粒膜細胞、英膜細胞、卵胞ホルモン、黄体ホルモン、子宮内膜
8	7/4(木)	2	131	陰茎の構造と勃起・射精	中根 裕信	解剖学	陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。	陰茎海綿体、尿道海綿体、勃起、ノルアドレナリン、アセチルコリン、一酸化窒素
9	7/5(金)	1	組織系	組織学実習1 (男性生殖器1)	中根 裕信 小山 友香	解剖学	精巣と精巣上体の組織を説明できる。	曲精細管、精巣網、輸尿管、白膜、精巣中隔、間質、間細胞、精祖細胞、精母細胞、精娘細胞、精子細胞、精子、セルトリー細胞
10	7/5(金)	2	組織系	組織学実習2 (男性生殖器2)	中根 裕信 小山 友香	解剖学	前立腺と陰茎の組織を説明できる。	前立腺石、海綿体、白膜、海綿体小柱、海綿体洞、陰茎深動脈、尿道
11	7/10(水)	2	131	男性生殖器の発育の過程	中根 裕信	解剖学	男性生殖器の発育の過程を説明できる。	精巣下降、男性ホルモン、精巣容量、精子形成、陰毛の発育
12	7/22(月)	3	組織系	組織学実習3 (女性生殖器)	中根 裕信 小山 友香	解剖学	卵巣、卵管、子宮の組織を説明できる。	腹膜、一次卵胞、二次卵胞、顆粒層、透明帯、黄体、卵胞膜、子宮内膜、子宮腺、らせん動脈、機能層、基底層、子宮筋層

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連 : 2、3、5

学位授与の方針との関連 : 1、2、3

授業のレベル: 3

評価: 筆記試験・実習評価などから総合的に評価する。

実務経験との関連: 研究医や臨床医がその経験を生かして、生殖器に関する専門分野の講義・実習を行う。

その他: 組織学実習には パソコン、色鉛筆(12色程度)、LANケーブルを持参のこと。組織系実習室(病理解剖組織系実習室)は総合教育棟の4階にあります。

基礎感覚器学

科目到達目標: 感覚器系の構造、機能、発生に関する知識を習得して、疾患の理解に応用できる。

科目責任者(所属教室): 海藤 俊行(解剖学)

連絡先: 0859-38-6011(解剖学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/5(水)	1	131	眼球の構造1	海藤 俊行	解剖学	眼球の組織構造を図示して説明できる 視覚器の発生を理解できる	角膜、強膜、虹彩、毛様体、水晶体、硝子体、網膜、視神経、眼杯、水晶体胞
2	6/5(水)	2	131	眼球の構造2	海藤 俊行	解剖学	眼球の組織構造を図示して説明できる 関連する疾患例について概説できる	角膜、強膜、虹彩、毛様体、水晶体、硝子体、網膜、視神経
3	6/6(木)	3	131	眼球附属器の構造	海藤 俊行	解剖学	眼球附属器の構造を説明できる 関連する疾患例について概説できる	外眼筋、眼瞼、結膜、涙器
4	6/6(木)	4	131	視覚情報の受容	畠 義郎	生体高次機能学	視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる	杆体細胞、錐体細胞、神経節細胞、受容器電位、受容野、外側膝状体、単純細胞、複雑細胞
5	6/12(水)	1	131	皮膚の構造と角化	山田 七子	卒後臨床研修センター	皮膚の組織構造を図示して説明できる	表皮、真皮、皮下組織、部位による構造の相違、角化
6	6/13(木)	4	131	眼球の光学系・運動・反射	宮崎 大	視覚病態学	眼球の光学系としての特徴を理解できる 眼球運動のしくみ、対光反射・輻輳反射・角膜反射の機能について説明できる	水晶体、角膜、ジオプター、眼筋、滑動性追従運動、衝動性眼球運動、Edinger-Westphal核、輻輳反射、対光反射、角膜反射
7	6/14(金)	4	131	外耳・中耳の構造	海藤 俊行	解剖学	外耳・中耳の組織構造を図示して説明できる 関連する疾患例について概説できる	耳介、外耳道、鼓膜、鼓室、耳小骨、耳管
8	6/19(水)	2	131	皮膚分泌・経皮吸収	山田 七子	卒後臨床研修センター	皮脂分泌・発汗・経皮吸収・バリア機能を説明できる	皮脂腺、汗腺、エクリン汗腺、アポクリン汗腺、バリア機能、経皮吸収
9	6/26(水)	2	131	内耳の構造・平衡聴覚器の発生	海藤 俊行	解剖学	内耳の組織構造を図示して説明できる 平衡聴覚器の発生が理解できる 関連する疾患例について概説できる	骨迷路、膜迷路、前庭、半規管、蝸牛、咽頭弓、咽頭溝、咽頭嚢、耳胞
10	6/27(木)	2	131	聴覚の受容	松尾 聡	適応生理学	聴覚の受容のしくみと伝導路を説明できる	音圧レベル、音響インピーダンス、有毛細胞、蝸牛マイクロホン電位、tonotopic organization
11	6/28(金)	1	組織系	組織学実習1	海藤 俊行 中根 裕信 椋田 崇生 小山 友香	解剖学	眼球の組織学的構造を図示して説明できる	角膜、強膜、虹彩、毛様体、硝子体、網膜、視神経
12	6/28(金)	2	組織系	組織学実習2	海藤 俊行 中根 裕信 椋田 崇生 小山 友香	解剖学	眼球の組織学的構造を図示して説明できる	角膜、強膜、虹彩、毛様体、硝子体、網膜、視神経

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
13	7/2(火)	1	131	網膜の電気生理	馬場 高志	眼科	網膜の電気生理学的反応とその意義について理解できる	網膜電図(ERG)、photopic ERG、scotopic ERG、a波、b波、律動様小波、視細胞、ミュラー細胞、双極細胞、アマクリン細胞
14	7/3(水)	1	131	皮膚の発生・感覚器としての機能	海藤 俊行	解剖学	皮膚の発生が理解できる 皮膚の感覚器としての機能・特性が理解できる	皮膚の発生、毛、メルケル細胞、マイスネル小体、パチニ小体
15	7/4(木)	1	131	前庭の機能	松尾 聡	適応生理学	平衡覚の受容と姿勢制御のしくみを説明できる	平衡斑、半規管、前庭神経核、前庭脊髄反射、前庭眼反射、眼振、眼球・頭部協調運動
16	7/8(月)	3	組織系	組織学実習3	海藤 俊行 中根 裕信 棕田 崇生 小山 友香	解剖学	眼球付属器と平衡聴覚器の組織学的構造を図示して説明できる	眼瞼、結膜、膜迷路、前庭、半規管、蝸牛
17	7/8(月)	4	組織系	組織学実習4	海藤 俊行 中根 裕信 棕田 崇生 小山 友香	解剖学	皮膚の組織学的構造を図示して説明できる	表皮、真皮、皮下組織、マイスネル小体、パチニ小体
18	7/8(月)	5	組織系	組織学実習5	海藤 俊行 中根 裕信 棕田 崇生 小山 友香	解剖学	皮膚の組織学的構造を図示して説明できる	表皮、真皮、皮下組織、マイスネル小体、パチニ小体
19	7/11(木)	2	131	皮膚における免疫防御と過敏反応	杉田 和成	皮膚科	皮膚の免疫防御機能と過敏反応を説明できる	ケラチノサイト、ランゲルハンス細胞、サイトカイン、リンパ球、遅延型過敏反応、接触皮膚炎、じんま疹
20	7/12(金)	2	131	眼科臨床に役立つ基礎知識	井上 幸次	視覚病態学	眼科疾患との関連で眼球の構造・機能を理解できる	角膜上皮、角膜内皮、線維柱帯、前房、ぶどう膜、網膜色素上皮、網膜中心動脈、網膜中心静脈、黄斑、視神経乳頭
21	7/17(水)	2	131	味覚と嗅覚	水田 栄之助	統合生理学 (非常勤講師)	味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる	嗅細胞、嗅覚受容体、嗅球、嗅覚障害、味蕾、味覚受容体、味覚障害
22	7/18(木)	2	131	皮膚科臨床に役立つ基礎知識	吉田 雄一	皮膚病態学	皮膚疾患と関連する皮膚の構造・機能や診断における諸検査、病理組織を理解できる	発疹学、皮膚検査法、皮膚病理組織学
23	7/19(金)	2	323	耳鼻科臨床に役立つ基礎知識	國本 泰臣	頭頸部診療科群	耳鼻科疾患との関連で平衡聴覚器の構造・機能を理解できる	聴覚伝導路、標準純音聴力検査、伝音難聴、感音難聴、幼耳聴力検査、語音明瞭度検査、聴性脳幹反応(ABR)、チンパノメトリー

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育ブランドデザインとの関連:2、3、5

学位授与の方針との関連:1、2、3

授業のレベル:3

評価:筆記試験・実習評価などから総合的に評価する。

実務経験との関連:研究医や臨床医がその経験を生かして、感覚器に関する専門分野の講義・実習を行う。

その他:組織学実習には パソコン、色鉛筆(12色程度)、LANケーブルを持参のこと。 組織系実習室は総合教育棟4階にあります。

基礎神経学

科目到達目標: 1) 神経系の発生を説明できる。

2) 神経系の肉眼構造と組織学的構造及びそれらの機能を説明できる。

3) 脳解剖学実習の際に実物脳を用いてその構造と機能を概説できる。

4) 中枢神経組織学実習の際に実際の組織標本を観察することによりその中枢神経における細胞学及び組織学的構築を概説できる。

5) 神経系に働く薬物の作用機序を説明できる。

科目責任者(所属教室): 加藤 信介(脳病態医科学) 連絡先: 0859-38-6783

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療	到達目標	授業のキーワード
1	4/3(水)	3	131	大脳の皮質の構造と機能	加藤 信介	脳病態医科学	大脳皮質の構造を説明できる 大脳皮質の機能局在を説明できる	前頭葉、前頭前野(前頭連合野)、運動前野、運動眼野、補足運動野、運動野、Penfield(ペンフィールド)、ホムンクルス、分子層、外顆粒細胞層、錐体細胞層、内顆粒細胞層、神経細胞層、Betz(ベッツ)細胞、多型細胞層、フローードマン領域(49-51野欠番)、Broca(ブローカ)野、頭頂葉、感覚野、Wernicke(ウェルニッケ)野、味覚中枢、角回、Gerstmann(ゲルスマン)症候群、側頭葉、聴覚野、橋側頭回(ヘンツェル回: Heschel's gyrus)、音階対応配列、後頭葉、視覚野、ジェンナリー(Gemari)線条、Anton症候群、島皮質
2	4/3(水)	4	131	神経系の発生	中根 裕信	解剖学	神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平行聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる	外胚葉、神経板、神経管、脳泡、基板、翼板、蓋板、底板
3	4/5(金)	3	131	大脳辺縁系の構造と機能 大脳白質の構造と機能	加藤 信介	脳病態医科学	大脳辺縁系の構造と機能を説明できる 大脳白質の構造と機能を説明できる	大脳辺縁系、海馬体(アンモン角)、海馬(アンモン角)、海馬歯状回、海馬支脚(海馬台)、ソマー(Sommer)扇形部、CA1-4、帯状回、Papez(パペツ)回路、海馬傍回、Entorhinal cortex、大脳皮質6層→3層、Transentorhinal cortex、側副溝、紡錘状回、海馬白質、脳弓、アルツハイマー(Alzheimer)病、中隔核、ブローカの前角帯、大脳白質、投射線維、連合線維、交連線維、内包、前頭橋路、皮質核路、皮質網様体路、皮質赤核路、皮質橋路、皮質脊髄路、視床放線、聴放線、視放線、弓状束、帯状束、鉤状束、上縦束、下縦束、前交連、後交連、視蓋前域オリブ核、カハール(Cajal)間質核、タルクシェービチ(Darkschewitsch)核、エディンガー・ウエストファール(Edinger-Westphal)核、動眼神経核、後交連核、視覚伝導路、対光反射、Argyll-Robertson瞳孔、聴覚伝導路
4	4/5(金)	4	131	大脳基底核の構造と機能	加藤 信介	脳病態医科学	大脳基底核の構造と機能(連絡路)を概説できる	大脳基底核、線条体(尾状核、被殻)、淡蒼球、レンズ核、扁桃核、Yakovlev(ヤコブレフ)回路、クリューバー・バリューシー症候群、マイネルト基底核(Acetylcholine)、前障、乳頭体、前頭前野、運動前野-尾状核路(Glutamate)、運動前野-運動野-感覚野-被殻路(Glutamate)、視床下核-淡蒼球路(Glutamate)、線条体-淡蒼球路(GABA)、レンズ核束・レンズ核ワナ(淡蒼球内節-視床路: GABA)、淡蒼球外節-視床下核路(GABA)、線条体-黒質路(GABA)、黒質-線条体路(Dopamine)、視床(CM)-被殻路(Acetylcholine)、パーキンソン(Parkinson)病、ハンチントン(Huntington)病
5	4/10(水)	3	131	脳幹の構造と伝導路 脳幹の機能	稲垣 喜三	麻酔・集中治療医学	脳幹の構造と伝導路を説明できる 脳幹の機能を概説できる	中脳、橋、延髄、黒質、大脳脚、青斑核、小脳脚、橋核、下オリーブ核、錐体脳幹網様体、意識、マクグーンの脳幹網様体賦活系、呼吸中枢、循環中枢、眼球運動
6	4/10(水)	4	131	脳内神経伝達物質	中曾 一裕	統合分子医学	主な脳内神経伝達物質とその作用を説明できる	ドーパミン、ノルアドレナリン、アセチルコリン、セロトニン、ヒスタミン、グルタミン酸、GABA、神経ペプチド、受容体、アゴニスト、アンタゴニスト
7	4/17(水)	3	131	間脳の構造と機能	加藤 信介	脳病態医科学	間脳(視床を中心)の構造と機能(連絡路)を説明できる	視床(背側視床)、視床亜核、前核群A(Papez回路)、内側核群MD(Thalamic dementia・Yakovlev回路)、正中核群(視床間橋)、髄板内核群CM・PF(アンダーソン・アンデルセン・Anderson & Anderssen)仮説: α波形成)、外側核群(上丘→)LD(→P1)・(上丘→)LP(→帯状回)・(上丘→)Pul(→P2-視覚連合野)、腹側核群(淡蒼球→)VA(→B6)・(小脳→)VL(→B4)・(C2以下→)VPL(→B3・1・2)・(三叉→)VPM(→B3・1・2)、視床後部(外側膝状体、内側膝状体)、視床-大脳皮質連絡路(視床放線: 前脚[A・MD]、後脚[VA・VL・VPL・VPM・LD・LP]、後部[LGB・MGB])、Dopamine作動系、視床下核(ルレイ体、腹側視床)、ヘミバルスム、松果体(視床上部)、手綱核、メラトニン(視交叉上核・視床下部・背側側角・上頸交感神経節)、脳室周囲器官(脳弓下器官、終板血管器官、神経性下垂体、正中隆起、交連下器官、松果体、最後野)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療	到達目標	授業のキーワード
8	4/17(水)	4	131	小脳の構造と機能	加藤 信介	脳病態 医科学	小脳の構造と機能を概説できる	小脳(小脳半球、小脳虫部)、前葉(古小脳: 脊髄小脳路)、後葉(新小脳: 橋小脳路)、片葉小節葉(原小脳: 前庭小脳路[一次・二次・直接]、プルキンエ細胞、顆粒細胞[平行線維]、小脳核(齒状核、球状核、室頂核)、橋核(苔状線維)、下半月小葉、二腹小葉、小脳扁桃、上半月小葉、単小葉、四角小葉、小舌、中心小葉、山頂、山腹、虫部葉、虫部隆起、虫部錐体、虫部垂、小節、上小脳脚(結合腕)、上髄叢、小脳視床路、小脳赤核路、前脊髄小脳路、中脳脚(橋腕)、下小脳脚(索状核)、下髄叢、下オリーブ小脳路(赤上線維)、視状束核小脳路、後脊髄小脳路、口蓋小クロース、Guillain-Mollaret三角(赤核→中心被蓋路→下オリーブ核→小脳プルキンエ細胞→赤核)、室頂核前庭路(非交叉性[下小脳脚]・交叉性[鉤状束・上髄叢])、脳ヘルニア
9	4/19(金)	3	131	視床下部の構造と機能 ストレス反応と本能・情動 行動	渡邊 達生	統合生理学	視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連づけて概説できる ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を概説できる	視床下部ー下垂体系、乳頭体、視索上核、室傍核、ホルモン分泌 本能、情動、海馬、扁桃体、辺縁系、視床下部(室房核)
10	4/19(金)	4	131	脊髄の構造と機能	加藤 信介	脳病態 医科学	脊髄の構造と機能局在及び伝導路を説明できる	頸髄(C1-8)、胸髄(T1-12)、腰髄(L1-5)、仙髄(S1-4)、尾髄(Co)、T1>T2、S1>S2>S3、前角、後角、側索、前索、後索、内側毛様体、脊髄硬膜、前根、後根、ヤコビ(Jacob)線、ゴッ(Golli)束、ブルダツハ(Burdach)束、外側皮質脊髄路、前皮質脊髄路、クラーウ(Clark)核(C8-L2)、中間質外側核(T1-L2)、オナフ(Onufrovicz)核(S2)、レキシード(Rexed)分類、外側脊髄視床路、前脊髄視床路、デルマトーム、ブラウン-セカール(Brown-Sequard)症候群、皮質赤核路-赤核脊髄路、皮質網様体路-網様体脊髄路、前庭脊髄路、視蓋脊髄路、間質核脊髄路、 α - γ linkage、Dejerine-Klumpke麻痺、Duchenne-Erb麻痺
11	4/24(水)	3	131	末梢神経系の構成と構造 自律神経の構造と分布	加藤 信介	脳病態 医科学	末梢神経系を概説できる 交感神経系を概説できる 副交感神経系を概説できる	脳神経(12対)、自律神経、交感神経、交感神経幹(頸部3対、胸部10-12対、腰部4-5対、仙骨部)、星状神経節ブロック、カウザルギー(灼熱痛)、副交感神経、動眼神経副(Etinger-Westphal)核、毛様体神経節、顔面神経上唾液核、翼口蓋神経節、顎下神経節、舌咽神経下唾液核、耳神経節、迷走神経背側核、脊髄副交感神経:S2-S4、ホルネル症候群、腹腔神経節、上腸間膜神経節、下腸間膜神経節、視床下部-中間質外側核路(Dopamine)、節前ニューロン、節後ニューロン、アドリナリン作動性線維、コリン作動性線維、発汗・全身静脈、立毛筋、孤束核
12	4/24(水)	4	131	運動の伝達	加藤 信介	脳病態 医科学	運動発現機構を随意運動系と不随意運動系を中心として概説できる	皮質核路(面側支配: 顔面下半分の顔面神経・舌下神経は対側支配)、前皮質脊髄路、外側皮質脊髄路、前頭前野、尾状核、淡蒼球内節、レンズ核束、レンズ核ワナ、視床(VA+VL)、運動野ベッツ(Betz)細胞、運動前野、線条体(尾状核・被殻)、黒質、視床下核、前頭橋路、橋核、苔状線維、顆粒細胞、平行線維、プルキンエ細胞、小脳歯状核・赤核路、小脳歯状核・視床路、皮質赤核路-赤核脊髄路、皮質網様体路-網様体脊髄路、前庭脊髄路、視蓋脊髄路、間質核脊髄路、脳幹運動核、脊髄前角細胞、前脊髄小脳路、後脊髄小脳路、視状束核小脳路、痙性麻痺、バビンスキー反射(dorsi reflex: B4、fanning reflex: B6)、病的反射(Chaddock、Hoffman、Rossolimo) ワリス(Willis)動脈輪、前大脳動脈、 moyunary(Heubner)動脈、 pericallosal、callosomarginal、中大脳動脈、前脈絡叢動脈、レンズ核線条体動脈、prefrontal、precentral、central、頭頂葉枝、側頭動脈、後大脳動脈、occipitoparietal、calcarine、hippocampal、椎骨脳底動脈、PICA、AICA、SCA、視床穿通動脈、視床膝状体動脈、後脈絡叢動脈、前交通動脈、basal forebrain、後交通動脈、前角孔質、後角孔質、前脊髄動脈、アダムキュービッツ(Adamkiewicz)動脈、上・下矢状静脈洞、表在静脈系、トロラード(Trolard)静脈、ラベ(Labbe)静脈、深部静脈系、カレン(Galen)大静脈、海綿静脈洞、ワレンベルグ(Wallerberg)症候群、デジェリン(Dejerine)症候群、デジェリン-ルーシー(Dejerine-Roussy)症候群
13	4/26(金)	3	131	中枢神経系の血管構築と 血管支配	加藤 信介	脳病態 医科学	中枢神経系の血管構築と血管支配領域を説明できる	
14	4/26(金)	4	131	脳神経の分布と機能	海藤 俊行	解剖学	脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能 を概説できる	嗅神経、視神経、動眼神経、滑車神経、三叉神経、外転神経、顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療	到達目標	授業のキーワード
15	5/8(水)	3	131	脊髄神経の分布と機能	海藤 俊行	解剖学	脊髄神経と神経叢(頸腕神経叢の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる)	頸神経叢、腕神経叢、運動神経の骨格筋支配、感覚神経の皮膚分布領域
16	5/8(水)	4	131	脊髄神経の分布と機能	海藤 俊行	解剖学	脊髄神経と神経叢(腰仙骨神経叢の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる)	腰神経叢、仙骨神経叢、運動神経の骨格筋支配、感覚神経の皮膚分布領域
17	5/10(金)	3	131	感覚の伝達	海藤 俊行	解剖学	表在感覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる	表在感覚受容体(マイスネル小体、パチニ小体、メルケル細胞、自由神経終末、網状神経終末)、深部受容器(筋紡錘、腱紡錘)、脊髄視床路、後索-内側毛帯路、三叉神経による感覚性伝導路
18	5/10(金)	4	131	脳内神経伝達物質	中曾 一裕	統合分子 医化学	主な脳内神経伝達物質とその作用を説明できる	ドーパミン、ノルアドレナリン、アセチルコリン、セロトニン、ヒスタミン、グルタミン酸、GABA、神経ペプチド、受容体、アゴニスト、アンタゴニスト
19	5/20(月)	3	131	中枢神経作用薬	中曾 一裕	統合分子 医化学	中枢神経作用薬(パーキンソン病薬、アルツハイマー病薬、抗てんかん薬、抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、中枢神経興奮薬ほか)の薬理機序を説明できる	パーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん、ドーパミン、ドーパミン受容体、アセチルコリン、アセチルコリンエステラーゼ、GABA、グルタミン酸、統合失調症、うつ病、不眠、不安、ドーパミン、セロトニン、三環系・四環系抗うつ薬、SSRI、ベンゾジアゼピン類
20	5/20(月)	4	131	髄膜の構造と機能 脳室の構造と機能 脳脊髄液の産生と性状及び循環	加藤 信介	脳病態 医科学	脳髄膜室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる	大脳硬膜(内葉+外葉・骨膜) 脊髄硬膜(内葉) くも膜、脳軟膜、アストロサイト footprocess、基底膜、硬膜上腔、硬膜下腔、くも膜下腔、大脳鎌、小脳テント、小脳鎌、硬膜静脈洞、側脳室、第3脳室、第4脳室、Monro孔、Magendie孔、Luschka孔、くも膜顆粒、脈絡叢、脳脊髄液、脳血液関門、脳室周囲器官群、血液脳脊髄液関門、Arnold-Chiari奇形、脊髄空洞症(I型)・脊髄髄膜瘤(II型)・後頭下部髄膜瘤(III型)・小脳形成不全(IV型)・Dandy-Walker症候群(後脳発生障害)
21	5/22(水)	3	131	脳解剖学概論講義(I)	加藤 信介	脳病態 医科学	脳解剖実習に必要な中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を概説できる	大脳、中脳、橋、延髄、小脳、脳神経、ウィリス動脈輪、脳幹切除方法、シルヴィウス溝、中心溝、頭頂後頭溝、後頭前切痕、運動野、感覚野、ブローカ野、ウェルニッケ野、マジャンデーリ孔、モンロー孔、鳥距溝、Sylvian fissure、central sulcus、parietooccipital sulcus、preoccipital notch、motor cortex、sensory cortex、Broca area、Wernicke area、Foramen of Magendie、foramina of Luschka、cranial nerves、superior colliculus、parieto-occipital sulcus、calcarine sulcus
22	5/22(水)	4	131	脳解剖学概論講義(II)	加藤 信介	脳病態 医科学	脳解剖実習に必要な中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を概説できる	脳前額切痕法、脳水平切痕法、前頭葉、側頭葉、後頭葉、頭頂葉、脳回、側脳室、海馬、尾状核、被殻、淡蒼球、前障、扁桃体、視床下部、乳頭体、脈絡叢、第3脳室、第4脳室、小脳脚、黒質、大脳脚、上丘、下丘、オリブ核、網様体、cingulate sulcus、callosal sulcus、corpus callosum、anterior commissure、septum pellucidum、fornix、thalamus、massa intermedia、foramen of Monro、choroid plexus、pineal body、mamillary body、cerebellar hemisphere、vermis、superior and middle and inferior cerebellar peduncles、cerebellar dentate nucleus
23	5/24(金)	3	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	大脳、前頭葉(F1:補足運動野、F2:前頭眼野、F3)、側頭葉(T1:ヘッジエル回、T2、T3、紡錘状回、海馬傍回、海馬)、頭頂葉(P1、P2:角回)、後頭葉(鳥距溝)、運動野、感覚野、ブローカ言語野、ウェルニッケ言語野、中心溝、外側溝、頭頂後頭溝、後頭前切痕
24	5/24(金)	4	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	脳神経(大脳[I:嗅神経、II:視神経]、中脳[III:動眼神経、IV:滑車神経]、橋[IV:三叉神経、VI:外展神経、VII:顔面神経、VIII:聴神経]、延髄[X:舌咽神経、XI:迷走神経、XII:副神経、XII:舌下神経])、脳底部、視索、視交叉、前角質、後角質、乳頭体、直回、眼窩回、鉤、中脳、橋、延髄、延髄錐体、下オリブ核、マジャンデーリ孔、ルシュカ孔、小脳(虫部、半球)
25	5/29(水)	2	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	ウィリス動脈輪(IC、ACA、Acom、PCA、Pcom)、MCA、BA、VA、PTCA、AICA、SCA、脳前額断、脳水平断、側脳室、脈絡叢、第3脳室、第4脳室、モンロー孔、上・下矢状静脈洞、表在静脈系、浅中大脳静脈、トローラード(Trolard)静脈、ラベ(Labbe)静脈、脳幹切除
26	5/29(水)	3	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	被殻、尾状核、淡蒼球、松果体、前障、レンズ核、扁桃体、前交連、後交連、脳梁、脳弓、脈絡叢、乳頭体、海馬、脳弓、中隔核、ブローカ対角帯核、マイネルト基底核、脳梁、帯状回、鳥距溝、頭頂後頭溝、視床、視床間橋、視床下部、側脳室、側脳室下角

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療	到達目標	授業のキーワード
27	5/29(水)	4	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	尾状核(頭・尾)、被殻、淡蒼球、扁桃体、視床下部、乳頭体、視床下核、外側膝状体、内側膝状体、半卵円中心、錐体路、内包、外包、最外包、前障、島回、辺縁葉、海馬、海馬傍回、扁桃核
28	5/30(木)	2	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	中脳、動眼神経、滑車神経、黒質、赤核、上丘、下丘、中脳水道、中脳水道周囲灰白質、大脳脚、橋、三叉神経、外転神経、顔面神経、聴神経、青斑核、橋横繊維、橋横繊維、青斑核、孤束核、内側縦束、上小脳脚、中小脳脚、下小脳脚
29	5/31(金)	3	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	延髄、迷走神経、舌咽神経、副神経、舌下神経、延髄錐体、緑核、介在核、ローラー核、下オリーブ核、小脳、小脳冠状断、小脳矢状断、小脳虫部、小脳半球
30	5/31(金)	4	解剖	脳解剖学実習	加藤 信介 海藤 俊行	脳病態 医科学 解剖学	中枢神経系の各部の解剖学的名称と局在を説明でき、三次元的構造とその有機的連絡結合を概説できる	小脳核(歯状核、栓状核、球状核、室頂核)、下半月小葉、二腹小葉、小脳扁桃、上半月小葉、単小葉、四角小葉、小舌、中心小葉、山頂、山腹、虫部葉、虫部隆起、虫部錐体、虫部垂、小節
31	6/5(水)	3	組織系	正常中枢神経組織学概論 講義	加藤 信介	脳病態 医科学	正常中枢神経組織像が概説できる	大脳皮質(運動皮質・Betz細胞)、海馬(CA1・Sommer扇形部)、被殻(大型細胞1・小型細胞130)、淡蒼球(外節・内節)、視床、内包、外包、最外包、前障、島回、中脳(上丘、中脳水道、中脳水道周囲灰白質、動眼神経核、黒質、赤核、大脳脚)、橋(橋核、橋縦束、橋横走線維)、延髄(舌下神経核、迷走神経背側核、内側毛帯、下オリーブ核、延髄錐体)、小脳(Purkinje細胞、顆粒細胞、小脳歯状核)、脊髓(頸髄、胸髄、腰髄、前角細胞)
32	6/5(水)	4	組織系	正常中枢神経組織学実習	加藤 信介	脳病態 医科学	正常大脳における各部位の神経組織像が説明できる	大脳皮質(運動皮質・Betz細胞)、海馬(CA1・Sommer扇形部)、被殻(大型細胞1・小型細胞130)、淡蒼球(外節・内節)、視床、内包、外包、最外包、前障、島回、
33	6/7(金)	3	組織系	正常中枢神経組織学実習	加藤 信介	脳病態 医科学	正常脳幹・小脳・脊髓における神経組織像が説明できる	中脳(上丘、中脳水道、中脳水道周囲灰白質、動眼神経核、黒質、赤核、大脳脚)、橋(橋核、青斑核、橋縦束、橋横走線維)
34	6/7(金)	4	組織系	正常中枢神経組織学実習	加藤 信介	脳病態 医科学	正常脳幹・小脳・脊髓における神経組織像が説明できる	延髄(舌下神経核、迷走神経背側核、内側毛帯、下オリーブ核、延髄錐体)、小脳(Purkinje細胞、顆粒細胞、小脳歯状核)、脊髓(頸髄、胸髄、腰髄、前角細胞)
	7/31(水)		122	基礎神経学定期試験 10:00-12:00	加藤 信介	脳病態 医科学		

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、4

授業レベル: 2(中級レベル)

評価: 定期試験 100%、脳解剖実習については実習時の態度・実習ノートの評価する

基礎内分泌・代謝学

科目到達目標:

- 1) 内分泌系の発生と構造を説明できる。
- 2) 内分泌系の機能を説明できる。
- 3) 内分泌系の病態生理学を説明できる。

科目責任者(所属教室): 渡邊 達生(統合生理学)

連絡先: 研究室 TEL: 0859-38-6033, E-mail: watanabe@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	5/29(水)	1	131	内分泌学総論	渡邊 達生	統合生理学	ホルモンの構造分類・作用機序を説明できる ホルモン分泌の調節機構を説明できる	タンパクホルモン、ステロイドホルモン、アミンホルモン、標的器官、受容体、cyclic AMP, adenylyl cyclase, DNA, mRNA, フィードバック調節、視床下部-下垂体系
2	5/30(木)	1	131	視床下部・下垂体(1)	鞆嶋 有紀	周産期・小児医学	視床下部と下垂体との連結について説明できる 成長ホルモンの生理作用を説明できる	視床下部、下垂体門脈系、下垂体前葉、下垂体後葉、成長ホルモン、タンパク同化作用、抗インスリン作用、グリコーゲン分解、脂肪分解、インスリン様成長因子
3	6/3(月)	3	131	視床下部・下垂体(2)	渡邊 達生	統合生理学	ACTH、FSH、LH、TSH、PRL、オキシトシン、バゾプレッシンの生理作用を説明できる	ACTH、副腎、FSH、LH、卵巣、精巣、TSH、甲状腺、PRL、オキシトシン、乳房、バゾプレッシン、腎臓
4	6/4(火)	1	131	副腎(1)	渡邊 達生	統合生理学	副腎の構造と副腎髄質ホルモンの生理作用と分泌調節機構を説明できる	副腎髄質、アドレナリン、ノルアドレナリン、血圧上昇作用、血糖上昇作用、脂肪分解作用、熱産生、交感神経
5	6/6(木)	2	131	副腎(2)	渡邊 達生	統合生理学	副腎皮質ホルモンの生理作用と分泌調節機構を説明できる	副腎皮質、糖質コルチコイド、タンパク分解、糖新生、免疫抑制、ストレス、CRH、ACTH、鉱質コルチコイド、アルドステロン、Na再吸収、アンギオテンジン、性ホルモン
6	6/10(月)	3	131	性ホルモン	渡邊 達生	統合生理学	男性・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる	アンドロゲン、エストロゲン、プロジェステロン、コレステロール、LH、FSH、GnRH、精子形成、男性化、性周期、卵巣、子宮内膜、女性化
7	6/10(月)	4	131	甲状腺	椋田 崇生	解剖学	甲状腺の構造とホルモン産生・分泌調節機序を説明できる	甲状腺、濾胞上皮細胞、サイロキシン、トリヨードサイロニン、サイログロブリン、TRH、TSH、Na ⁺ /I ⁻ 共輸送体
8	6/13(木)	2	131	甲状腺と副甲状腺	椋田 崇生	解剖学	甲状腺ホルモンの作用機序および副甲状腺の構造とホルモンの作用機序を説明を説明できる	甲状腺ホルモン、熱産生、タンパク合成(成長)、血糖上昇、脳・心臓刺激作用、濾胞傍細胞(傍濾胞細胞)、カルシトニン、血中Caイオン低下作用、副甲状腺、パラトルモン、血中Caイオン上昇作用、ビタミンD、骨、腎臓、腸管
9	6/17(月)	4	131	ランゲルハンス島	渡邊 達生	統合生理学	ランゲルハンス島から分泌されるホルモンの作用を説明できる	インスリン、グルコース取り込みの促進、グリコーゲン合成、タンパク合成、脂肪分解の抑制、グルカゴン、血糖値上昇作用、脂肪分解、ソマトスタチン、膵ポリペプチド
10	6/20(木)	2	122	内分泌研究の最前線	渡邊 達生	統合生理学	内分泌研究の一端を紹介して研究アブローチの考え方を学ぶ。	ストレス、視床下部・下垂体・副腎系、CRH、ACTH、糖質コルチコイド、扁桃体、海馬、前頭前野、緑の香り、アロマトラピー、皮膚バリア障害、胎生期ストレス、うつ病
11	6/24(月)	3	組織系	組織学実習(1)	海藤 俊行 椋田 崇生 小山 友香	解剖学	各内分泌器官の図示と各のホルモンの列挙ができる 下垂体、副腎、精巣、卵巣の構造を説明できる	下垂体、前葉、後葉、副腎髄質、副腎皮質、球状層、束状層、網状層、精巣、卵巣
12	6/24(月)	4	組織系	組織学実習(2)	海藤 俊行 椋田 崇生 小山 友香	解剖学	甲状腺、副甲状腺、膵臓(ランゲルハンス島)の構造を説明できる	甲状腺、濾胞細胞、コロイド、傍濾胞細胞、副甲状腺、ランゲルハンス島、B細胞、A細胞、D細胞

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育プログラムデザインとの関連: 2

学位授与の方針との関連: 1

授業のレベル: 2 (中級レベル)

評価: 定期試験 83%、レポート17%

指定参考書: Review of Medical Physiology, Appleton & Lange, 最新版(渡邊)

基礎血液学

科目到達目標:1)血液の組成と機能を理解する。
2)血液型について理解し、ABO式、Rh式が判定できる。

科目責任者(所属教室):中留 真人(法医学)

連絡先:0859-38-6123

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(月)	3	131	血球の分類	海藤 俊行	解剖学	血球の分類を概説できる。赤血球の形態を説明できる。白血球の種類と機能を説明できる。血小板の構造を説明できる。	赤血球、白血球、血小板
2	4/1(月)	4	131	骨髄と胸腺	海藤 俊行	解剖学	骨髄の構造を説明できる。造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を概説できる。胸腺の構造と機能を説明できる。	骨髄、造血、幹細胞、胸腺、一次リンパ器官
3	4/2(火)	1	131	二次リンパ器官の構造と機能	海藤 俊行	解剖学	リンパ節、脾臓、腸管関連リンパ組織(扁桃、Peyer板)の構造と機能を説明できる。	リンパ節、脾臓、腸管関連リンパ組織、扁桃、パイエル板、二次リンパ器官
4	4/2(火)	4	131	血漿タンパク質の種類と機能	松尾 聡	適応生理学	血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。	血漿タンパク質、アルブミン、グロブリン、フィブリノゲン
5	4/8(月)	3	131	赤血球とヘモグロビン	松尾 聡	適応生理学	赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。	赤血球、ヘモグロビン、ポーア効果、酸素解離曲線
6	4/8(月)	4	131	血小板と止血	松尾 聡	適応生理学	血小板の機能と止血の機序を説明できる。	一次止血、血小板凝集、von Willebrand因子、アラキドン酸カスケード
7	4/9(火)	1	131	凝固と線溶	松尾 聡	適応生理学	凝固と線溶の機序を説明できる。	内因系凝固、外因系凝固、プロテインC、アンチトロンビン、繊維素溶解、プラスミノゲン、t-PA
8	4/15(月)	3	131	血液型	中留 真人	法医学	血液型が説明できる。	ABO式血液型、Rh式血液型、MNSs式血液型、Lewis式血液型、分泌型・非分泌型、DNA多型
9	4/15(月)	4	シミュレーションセンター	シミュレータによる採血実習	中野 俊也	医学教育学	採血に関する正しい知識を習得し、シミュレータでの静脈採血ができる。	採血法、採血の合併症、採血管の種類
10	4/16(火)	1	131	血液型検査	中留 真人	法医学	血液型の検査法が説明できる。	凝集素吸収試験、凝集素解離試験、電気泳動法
11	4/23(火)	3	感染・生化	基礎血液学実習	中留 真人	法医学	採血および血液型の検査ができる。	採血、ABO式血液型、Rh式血液型
12	4/23(火)	4	感染・生化					

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連:1、2

学位授与の方針との関連:1、2

授業のレベル:2

評価:定期試験 100%

実務経験との関連:研究者としての医師がその実務経験を活かし、各自の専門分野に関する講義又は実習を行う。

基礎医学実習

科目到達目標： 1) 実験の手法を身につける。 2) 実験の組み立て方を身につける。 3) 各実習の意義を説明できる。
4) 各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。 5) 各実習で得られたデータをもとに発表し、討論できる。
6) 実験動物への愛護精神を身につける。

科目責任者(所属教室)：松浦 達也(統合分子医化学)

連絡先：0859-38-6153 (統合分子医化学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/12(水)	3	131	説明会				
2・3	6/18(火)	3・4	機能系、感染・生化	実習内容：日程・実習場所等の詳細は、 後日実習書に記載して配布する。 時限数：34～45時限	基礎系 講座・分野 担当教員	統合生理学分野、 適応生理学分野、 統合分子医化学分野、 薬理学・薬物療法学分野	教科書に記載されている事実あるいは講義等で 教えられた知識は、多くの研究によって得られた ものである。基礎医学実習では、実験を自ら実施 することで、講義で学んだ知識について理解を深 め、問題点を説明する能力や論理的思考力を養 うことを目標とする。また、得られたデータをもと に、学会方式の発表を行うことにより、プレゼン テーション能力の向上を目指す。	
4・5	6/19(水)	3・4	機能系、感染・生化					
6・7	6/20(木)	3・4	機能系、感染・生化					
8・9	6/21(金)	3・4	機能系、感染・生化					
10・11	6/25(火)	3・4	機能系、感染・生化					
12・13	6/26(水)	3・4	機能系、感染・生化					
14・15	6/27(木)	3・4	機能系、感染・生化					
16・17	6/28(金)	3・4	機能系、感染・生化					
18・19	7/2(火)	3・4	機能系、感染・生化					
20・21	7/3(水)	3・4	機能系、感染・生化					
22・23	7/4(木)	3・4	機能系、感染・生化					
24・25	7/5(金)	3・4	機能系、感染・生化					
26・27	7/9(火)	3・4	機能系、感染・生化					
28・29	7/10(水)	3・4	機能系、感染・生化					
30・31	7/11(木)	3・4	機能系、感染・生化					
32・33	7/12(金)	3・4	機能系、感染・生化					
34・35	7/16(火)	3・4	機能系、感染・生化					
36・37	7/17(水)	3・4	機能系、感染・生化					
38・39	7/18(木)	3・4	機能系、感染・生化					
40・41	7/19(金)	3・4	機能系、感染・生化					
42・43	7/23(火)	3・4	機能系、感染・生化					
44・45	7/24(水)	3・4	131	発表会				
46・47	7/26(金)	3・4	131					
48・49	7/30(火)	3・4	131					

教育グランドデザインとの関連：1, 3, 4, 5

学位授与の方針との関連：1, 2

授業レベル：3

評価：実習科目であるので、全出席を原則とする。授業・実習態度(50%)、レポート(30%)、発表会での発表・質疑応答など(20%)により評価する。

実務経験との関連：基礎医学研究に携わっている教員が、実験の進め方、手法、データの解釈などを指導する。

その他：実習書は説明会の時に配布する(全員出席のこと。遅刻をしないこと。これも出席に含める)。

基礎医学特論

科目到達目標:加齢・老化、自律神経調節の脳内機構、発熱の生理について説明できる。キャリア形成について考える。キャリア形成について考える。

科目責任者(所属教室):海藤 俊行(学部教育支援室)

連絡先:医学教育学 中野 俊也 (E-mail: nakano@tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	7/9(火)	1	131	自律神経調節の脳内機構	木場 智史	統合生理学	自律神経調節の脳内機構の解明研究の一端を紹介して研究アプローチの考え方を理解する。	交感神経系、運動、神経回路、心不全、オプトジェネティクス
2	7/10(水)	1	131	加齢・老化(1)	中野 俊也	医学教育学	加齢・老化による諸臓器、器官の変化を理解する。	加齢に伴う各臓器・器官の形態・機能の変化
3	7/12(金)	1	131	発熱の生理学	渡邊 達生	統合生理学	発熱発現の機序を説明できる。	発熱、LPS、インターロイキン、プロスタグランディンE、視床下部
4	7/16(火)	1	131	キャリア形成	山田 七子	卒後臨床研修センター	医師のキャリアパスについて理解する。初期研修、後期研修、専門医制度、研究について理解する。プロフェッショナルリズムについて考える。	医師のキャリアパス、医師として求められる基本的な資質・能力、初期研修、後期研修、専門医制度、研究(基礎・臨床)、プロフェッショナルリズム
5	7/17(水)	1	131	加齢・老化(2)	中野 俊也	医学教育学	加齢・老化による諸臓器、器官の変化を理解する。	高齢者医療の特異性、老年病
6	7/19(金)	1	421	老化と遺伝子	中根 裕信	解剖学	老化に関わる遺伝子について早老症を通して理解する。	早老症(ハッチンソン・ギルフォード症候群、コケイン症候群、ウエルナー症候群)、小児癌生存者の早期老化
7	7/23(火)	1	131	発明薬(1)	植木 賢	新規医療研究推進センター	発明とイノベーションの違いを理解する。身のまわりの経験から、自ら発明してみようという興味・姿勢をもつ。過去の発明の成り立ちについて理解する。	イノベーション、内発的動機、外発的動機、自己実現理論、マズロー欲求6段階、発明を生み出す発想
8	7/30(火)	1	131	発明薬(2)	上原 一剛	新規医療研究推進センター	医療機器の定義や医療機器規制の基本的な考え方が説明できる。医療機器の開発プロセスを理解する。特許制度の概要が説明できる。	医療機器、医療機器開発プロセス、医薬品医療機器等法、知的財産権、特許制度

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業レベル:2

評価:定期試験62.5%。レポート37.5%。その他、講義中に小テストを行い、評価に加味する。
実務経験との関連:現役医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。